

【基本情報】

教科情報	学年	1年	教科書	なし
科目	データサイエンス	単位数 (年間予定コマ数)	後期 1 (32)	副教材 なし
科目概要	①探究基礎：「探究基礎」を行う上で必要なデータ処理や情報分析、グラフ作成演習を行う。 ②データサイエンステスト：学習内容が理解できたかを見るための確認テストを実施します。			
到達目標	①「探究基礎」の内容を検証し、中身を深める。 ②グループで情報を集めて共有し、全体で発表することで、「データサイエンス」分野の知識・理解を深める。			
授業の進め方	・「探究基礎」の授業と連携してグループごとに計画を立てて実施します。 ・最後に、学習内容が理解できたかを見るための確認テストを実施します。			
留意事項	・グループ内での活動を重視し、お互いに協力して活動する。 ・グループにかかわらず、積極的に意見を交わしたり議論をする。			
家庭学習	・探究を進めるに当たって、必要な情報や資料を積極的に集めたり、大学や専門機関と積極的に連携することを推奨する。			
備考				

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 探究する力	物事の中から問題を見だし、解決方法を探して計画を立てようとしている。	25%	「探究基礎」では活動ごとのレポートによる評価 「データサイエンス」においては作成した資料の評価、発表の評価、確認テストによる評価。
B. 対話する力	情報をもとに自分の考えを形成し、文章や発言によって表現しようとしている。	25%	
C. 協働して創り出す力	思いや考えをもとに構成し、個人や集団としての考えを形成しようとしている。	25%	
D. 自律して活動する心	互いの考えを適切に伝え合い、多様な考えを理解しようとしている。	25%	

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
1 テーマ設定 とグループ活動	6	普通科動物園巡検	○	○			動物園内で疑問に感じたことを写真に撮り、個人の研究デザイン作成の題材とする
	2	問題発見・デザインの作成①	○	○	○		自分独自の研究デザイン（研究課題は自由）をまとめることができる
	2	デザインの作成②	○	○	○		
	2	旭川市出前講座	○	○	○	○	旭川市総合計画の理解を深め、地域の問題解決に寄与する意識を高めるとともに、地域経済分析システムの利用法を学び、ビッグデータを活用する力の向上を図ることができる
	2	論文購読演習	○	○	○		論文の研究課題や研究方法、考察、結論を読み取り、グループ内で発表することで、論文の内容を理解することができる
	2	論文購読演習	○	○	○		
	2	データ処理・グラフ作成演習		○	○		実験や地域経済分析システムなどから得られたデータをコンピュータを用いて処理し、グラフを作成することができる
	2	データ処理・グラフ作成演習		○	○		
	2	研究チーム編成	○	○			同じ研究をしたい生徒の人数を調整しながら研究チームを編成することができる
	2	研究計画の作成①	○	○	○		2年生から実施される課題研究に向けて計画を立てることができる
	2	研究計画の作成②	○	○	○		
	2	研究計画の作成③、データサイエンステスト	○	○	○	○	研究に関する知識が深まっているかを確認する小テストを実施し、グループ全体として理解が深まったかを確認する
	2	研究テーマ討論会	○	○	○		研究が1年間を通して活動することができる内容かをお互いに確認することができる
	2	ポートフォリオ入力	○	○	○		1年間の活動をポートフォリオに入力することができる